

広島の景気観測

平成20年4月調査結果

広島商工会議所会員企業のマインド調査

調査方法 郵送によるアンケート

調査内容 景況のほか、生産額・売上額など10項目についての状況(DI値を集計)
平成20年4月を前年同月と比較
平成20年5月～6月の先行き見通しを平成20年4月と比較

調査時期 4月下旬

調査対象 142社〔回答135社、回収率95.1%〕

DI (ディフュージョン・インデックス方式)

DIは各調査項目について判断の状況を示す。

ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向(「良い」)の回答割合が多いことを示し、マイナスの値は景気の下向き傾向(「悪い」)の回答割合が多いことを示す。

$DI = (\text{増加・好転など「良い」の回答割合}) - (\text{減少・悪化など「悪い」の回答割合})$

広島商工会議所

本件担当：会員サービス部企画広報チーム

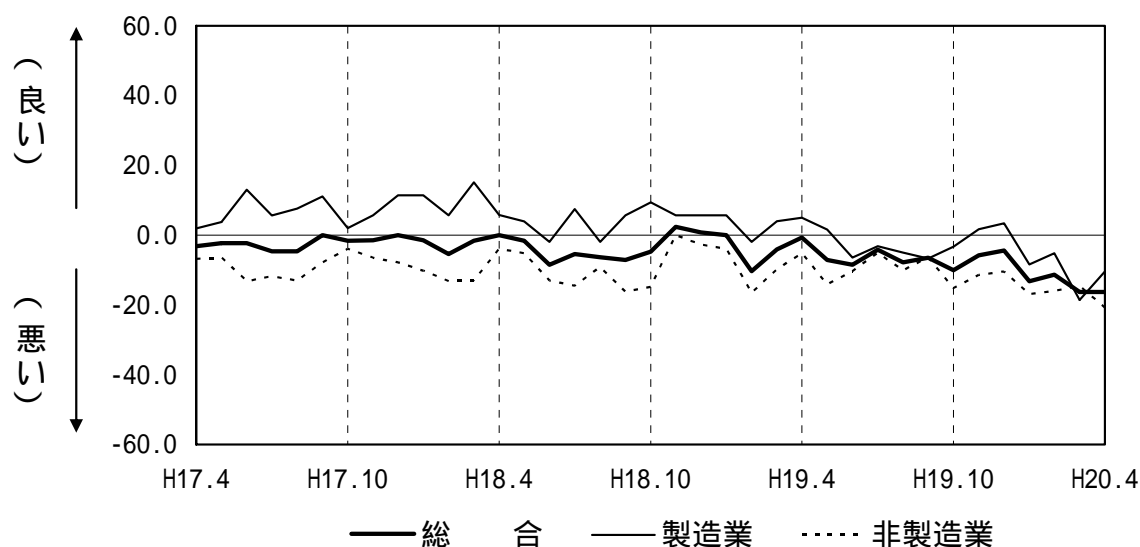
TEL 082 - 222 - 6631

E-Mail: hiroshima@hiroshimacci.or.jp

【平成20年4月の景況D I】

～景況は横ばいに推移～

景況D I (前年同月比)の推移



【総合】

4月の総合D Iは、下表のとおり前年同月比ベースで3月から横ばいに推移し、16.3となった。

【製造業】

製造業全体のD I値は3月の18.6から8.2ポイント上昇し、10.4となった。業種別では、食品、木材・木製品、紙・紙製品・印刷、自動車関連が上昇し、機械・金属製品が下降した。

【非製造業】

非製造業全体のD I値は3月の14.5から6.3ポイント下降し、20.8となった。業種別では、建設業、消費財卸売業、生産財・資本財卸売業が上昇し、小売業、サービス業が下降した。

【平成20年5月～7月の先行き見通し(対平成20年4月比)】

総合D Iは20.1を見込む。(3月調査により4～6月先行き見通し総合D Iは21.9) 製造業全体のD I値は15.8と、非製造業全体のD I値は23.4となる。

業種別景況 D I

	前年同月比	回答社数構成比(%)			20年3月比 4~6月	20年4月比 5~7月	回答社数構成比(%)				
		2月	3月	4月			好転	横ばい	悪化	好転	横ばい
総合 (135)	11.3	16.3	16.3	7.4	68.9	23.7	21.9	20.1	6.0	67.9	26.1
製造業 (58)	5.2	18.6	10.4	10.3	69.0	20.7	21.1	15.8	7.0	70.2	22.8
食品 (12)	8.4	16.7	8.3	16.7	58.3	25.0	16.7	25.0	8.3	58.3	33.3
木材・木製品 (10)	10.0	30.0	20.0	0.0	80.0	20.0	20.0	30.0	0.0	70.0	30.0
紙・紙製品・印刷 (8)	42.9	37.5	12.5	0.0	87.5	12.5	12.5	14.3	0.0	85.7	14.3
機械・金属製品 (13)	28.6	28.6	30.8	7.7	53.8	38.5	21.4	15.4	7.7	69.2	23.1
自動車関連 (10)	30.0	10.0	0.0	10.0	80.0	10.0	62.5	20.0	0.0	80.0	20.0
合成樹脂・ゴム製品 (5)	20.0	40.0	40.0	40.0	60.0	0.0	20.0	40.0	40.0	60.0	0.0
非製造業 (77)	16.0	14.5	20.8	5.2	68.8	26.0	22.7	23.4	5.2	66.2	28.6
建設業 (16)	13.3	20.0	18.7	6.3	68.8	25.0	13.4	12.5	12.5	62.5	25.0
卸売業 (19)	5.2	15.8	5.3	10.5	73.7	15.8	20.0	21.0	5.3	68.4	26.3
消費財 (9)	10.0	20.0	0.0	22.2	55.6	22.2	20.0	11.1	11.1	88.9	0.0
生産財・資本財 (10)	22.2	11.1	10.0	0.0	90.0	10.0	60.0	50.0	0.0	50.0	50.0
小売業 (19)	31.6	21.1	31.5	5.3	57.9	36.8	35.3	26.3	5.3	63.2	31.6
サービス業 (23)	13.6	4.4	26.1	0.0	73.9	26.1	21.7	30.4	0.0	69.6	30.4

()内は集計事業所数

2月・3月・4月期については対前年同月との比較。

4~6月・5~7月期の予測については各々3・4月との比較。

業種別回答者数構成比

